

障害者配慮

—入試からはじまる, 豊かな学生生活を提供するために—



2024年 11月9日(土) 13:30~17:00

Zoom ウェビナー配信

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の改正法が, 令和6年4月に施行されました。これを契機として, 入試を起点とした障害者配慮に関して現状を整理し, 課題解決のヒントを提供するのが本シンポジウムの目的です。

まず, 昨年度文部科学省に設置された「障害のある学生の修学支援に関する検討会」の「第三次まとめ」の内容を確認しつつ, 大学入試に求められる障害のある受験者への配慮の展望を, 大学入試センターの取組みと海外の動向を紹介しながら, 多角的に理解を深めます。

中でも, 今般の法改正で法的義務となった私立大学に焦点を当て, 大学ごとの多様な状況における, 入試の合理的配慮実施の状況や課題等について議論を展開します。

一方で, 障害学生支援の判断で大きな役割を果たす各種根拠資料の取扱いは, 特に入試配慮において重要な観点として, 触れていきます。

これら多角的な論点を踏まえ, 入試での合理的配慮実施は入学後の障害学生の修学支援体制へも派生していくものとして位置づけ, 入試担当者だけでなく学生支援全般に関心をお持ちの方々に実りあるシンポジウムとなるよう開催いたします。

プログラム

13:30-13:35	開催挨拶	山口 宏樹 (大学入試センター理事長)
13:35-13:45	趣旨説明	南谷 和範 (大学入試センター研究開発部教授) 「シンポジウムの趣旨」
13:45-14:00	動 向	奥井 雅博 (文部科学省学生支援課課長補佐) 「高等教育段階での障害のある学生支援について—高大連携・入試を中心に—」
14:00-14:15	動 向	川岸 哲也 (大学入試センター事業第一課参事) 「大学入学共通テストにおける受験上の配慮について」
14:30-15:05	事例紹介1	柏倉 秀克 (桜花学園大学副学長・教授) 「私立大学における配慮の現状について」
15:05-15:40	事例紹介2	高橋 知音 (信州大学学術研究院 (教育学系) 教授) 「海外の試験実施機関における配慮対応と根拠資料」
15:40-15:55	事例紹介3	立脇 洋介 (九州大学アドミッションセンター准教授) 「障害者配慮の次なるステップに向けて」
16:05-16:55	総合討論	奥井雅博, 柏倉秀克, 川岸哲也, 高橋知音, 立脇洋介 / (五十音順) 司会 / 南谷和範
16:55-17:00	閉会挨拶	山地 弘起 (大学入試センター試験・研究統括官) 総合司会 / 里見 康弘 (大学入試センター試験企画課課長補佐)

参加申込



10月25日(金)までに, 下記のフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/jNiDocywDDWx4JJg8>

・参加費無料, 定員 800 名

・定員となり次第, 受付終了とさせていただきます

主催

独立行政法人
大学入試センター

お問合せ先 : 試験企画部試験企画課

✉ sympo2024@cen.dnc.ac.jp